

子ども達の
未来のために、

2024年11月8日

おひさまを
みんなのために、

吉祥院こども園に お屋根の発電所が できました!

吉祥院こども園
SUN-SUN SMILEプロジェクト



ごあいさつ



吉祥院こども園は、昭和 10 (1935) 年地域の保育開設の要望により、吉祥院天満宮の一角に開設されて以来、自然に恵まれた環境のもと、保育方針「あそんで育て 心も体も元気な子」を目指してまいりました。 地域の方々のご支援ご協力を得て、令和 7 (2025) 年には 90 周年を迎えます。しかし、近年環境悪化による温暖化により、外であそぶことが危惧されるようになりました。子ども達が、これからも安心、安全にあそべる自然環境であることを願い、地球にやさしい「おひさま発電所」、「お屋根の発電所」と、地域貢献として災害時にも役立つ蓄電池を皆様のご支援、ご協力を得て設置しました。これを機会に、「おひさま」の発する光と熱は、生きもの全ての育ての親であることを学び、それに関わる自然環境も大切にすることを子ども達と共に育みたいと思っています。これからも、持続可能な未来のために、我々一人一人が取り組める活動をしましょう。今後ともご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



社会福祉法人のほな会 吉祥院こども園
理事長 井上 直樹



吉祥院こども園でのおひさま発電所の完成おめでとうございます。1935 年 10 月に開設されたこの歴史あるこども園に、自然の恵みを受け止める太陽光発電が設置されたこと大変嬉しく思います。ご協力いただきました方々に心から感謝申し上げます。四季の花と緑が豊かなこの地域で、自然や生き物に触れることのできる恵まれた環境がこれからも続いていくためには、危機的な状況にある気候変動を止める必要があります。おひさま発電所が二酸化炭素 (CO₂) の排出を減らし、今後、環境学習や環境活動が続けられていくことも期待されています。吉祥院こども園が地域の環境情報発信、活動拠点になり、子どもたちや地域の人々にとってもみんなの学びやかけがえのない体験になるはずで、豊かな自然と子どもたちの笑顔があふれる素敵な脱炭素地域づくりの取り組みに私たちも一緒にさせていただければ幸いです。

市民再エネプロジェクト in 京都・認定 NPO 法人 きょうとグリーンファンド
理事長 田浦 健朗

吉祥院こども園のエコ活動について……

エコ活動の一つとして、ゴミの分別とリサイクル・リユースに取り組んでいます。リユースには保護者の方にも協力して頂き、着られなくなった子供服や、マタニティ服などを回収ボックスに入れて貰っています。また、園のトイレの電気は、人感センサーを取り入れ、人が誰もいなくなると自動的に消えるシステムを導入しています。雨水タンクに雨水を溜めて、畑の野菜やお花の水やりに使用しています。



発電所作りリスタート!

①吉祥院こども園 おひさま発電所 計画始動!



井上園長(当時)の事務局へのお電話からプロジェクトが始まりました。これまでのおひさま発電所の事例を聞き、吉祥院こども園の子どもたちにも「おひさま発電所」という園長先生の思いがありました。

②スタッフ学習会



このプロジェクトは、吉祥院こども園だけでなく、次に続くおひさま発電所のためにも役立ちます。(井上理事長)



おひさま発電所は、こんな感じで進んでいきます。(きょうとグリーンファンド)



「なぜ、おひさま発電所なの?」その意義と題して、ひのでやエコライフ研究所 鈴木靖文さんのお話、地球温暖化の現状と未来に向けて私たちはどうしたらいいのか? 難しい課題ですが、おひさま発電所が、みんなのできる取組の一つです。(鈴木さん)

③寄付募集チラシ



チラシ

ポスター

多くの人に「おひさまプロジェクト」を知ってもらおうと、寄付の呼びかけ、ポスターの掲示をしました。地域の団体、近隣の保育園などからもご支援いただきました。オンライン寄付サイト Giveone でも寄付を募りました。

④設置工事



屋根の上に、おひさまプロジェクトへのみんなの思いをのせて、太陽光パネルが設置されていきます。

点灯式!

①理事長ごあいさつ



初めに井上理事長のご挨拶から始まりました。「記録づくめだった 2024 年の夏、子どもたちの未来のために太陽光発電を設置したい。」

②点灯式の日



いよいよ点灯式の日になりました。どんなおひさま発電所ができたか興味津々です。

③紙芝居「おひさま ありがとう」



「おひさま ありがとう」の紙芝居も上演されました。ぐりにゃんの心配もおひさまの恵みで解決! かな。

⑤エコ宣言・うた「ぼくら たいようのこ」



「電気を大切にします。」「好き嫌いなく何でも食べます。」「ごみを減らします。」子どもたちのエコ宣言、これからは子どもたちもエコ活動に取り組みます。「ぼくらは太陽のおひさまの子!」子どもたちの一番の友だちは太陽(おひさま)、これからは「おひさまでんき」でもっともっと身近に……

④点灯



子どもたちの手で、子どもみこしにスイッチオン、おひさまでんき点灯です。

⑥発電所看板贈呈



園の先生の力作です。木の板は、SUN☆SUN SMILE おひさま発電所の看板に変身!

市民再エネプロジェクト in 京都・きょうとグリーンファンド副理事長 阿部 勇よりご挨拶しました。

⑦ご挨拶



⑧来賓ご祝辞



●京都府総合政策環境部 脱炭素社会推進課 参事 小林 洋一郎 様
●京都府環境政策局地球温暖化対策室エネルギー政策企画課長 関山 達郎 様
2050 年までにカーボンニュートラルをめざしています。三つ子の魂百までといいますが、子どもたちに安心、安全な社会を……

⑩太陽光発電・蓄電設備見学



太陽光発電・蓄電設備の見学、説明は井上理事長、丁寧な説明に並々ならぬおひさま発電所への思いが感じられました。

⑨ミニ講座



お話は、京都府地球温暖化防止活動推進センター 川手 光春さん、「地球は今、どんどん変わってきている。気候災害で住めなくなるかも…」深刻な状況に言葉を失いますが、何とかしなければ……これ以上 CO₂ を出さないために再生エネを増やす、断熱をする。「地球温暖化対策はガマンではない」というお話に私たちにもまだまだできることはあると、思いを新たにしました。

●この事業は、社会福祉法人ののはな会 吉祥院こども園と市民再エネプロジェクト in 京都が協力して、京都市南区にある吉祥院こども園に、市民共同で太陽光発電・蓄電設備とEMSを設置したものです。

事業費は、市民からの寄付、市民再エネプロジェクト in 京都「おひさま基金」、社会福祉法人ののはな会 吉祥院こども園の資金（京都府自立的地域活用型再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金を含む）、民間助成金等でまかないました。

設置後は、吉祥院こども園が環境に配慮した施設となるよう、市民再エネプロジェクト in 京都も協力して環境学習を進めていきます。

●**後援** 京都府、京都市、特定非営利活動法人 KES 環境機構、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会（京エコロジーセンター指定管理者）

●**協力** 有限会社ひのでやエコライフ研究所、Fridays For Future Kyoto、太陽ガスグループ、Happy Energy

●**導入する設備** 太陽光発電設備（15.48kW）、蓄電設備（9.8kWh）、EMS（エネルギーマネジメントシステム）

●発電所データ

設置施設：社会福祉法人ののはな会 吉祥院こども園

総事業費：約 570 万円

設置日：2024 年 11 月 8 日

寄付額：ゆうちょ払込による寄付 889,000 円（113 件）

発電能力：15.48kW

オンライン寄付サイト Giveone を通じての寄付 167,000 円（8 件）

年間予想発電量：約 16,000kWh

寄付募集期間：2024 年 9 月 20 日～2024 年 12 月 31 日

●社会福祉法人ののはな会 吉祥院こども園

吉祥院こども園は、地域の保育園開設の要望により、地域の氏神である自然環境に恵まれた吉祥院天満宮の一角をお借りして昭和 10（1935）年 10 月開設されて以来、地域の方々のご支援、ご協力により、令和 7（2025）年開設 90 周年を迎えます。しかし、一方地球温暖化から自然環境の悪化が進み、人類存亡の危機に値する課題となっています。吉祥院こども園では、子ども達の未来のために、温暖化の原因である二酸化炭素排出抑制の取組として、地球にやさしい太陽光発電「おひさま発電所」、「お屋根の発電所」と夜間や災害時の電源としての蓄電池を設置することとしました。子ども達が、安心、安全にあそべる自然環境のために、一人でも多くの方々のご支援、ご協力をお願い致します。SUN ☆SUN SMILE が満ちあふれた環境に成りますように。



●市民再エネプロジェクト in 京都

温暖化を防止するさまざまな活動を続けてきた団体が、市民共同発電所をさらに広げようと立ち上げたプロジェクトです。この度、2050 年カーボンニュートラルに向けて、再生可能エネルギーを、今まで以上に普及させるとともに、大規模災害に備えて、地域の公共的な施設への設置を最優先して進めるために連携して取り組むことにしました。

寄付集めや助成金のノウハウ、太陽光発電の設置経験や知識を持つ非営利団体が集まったプロジェクトです。皆様の太陽光発電設備設置をサポートします。

参加団体：NPO 法人京都地球温暖化防止府民会議、認定 NPO 法人気候ネットワーク、一般社団法人市民エネルギー京都、NPO 法人エコネット近畿、認定 NPO 法人環境市民、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド

●温暖化を防ぎ、原発に依存しない社会を子どもたちに引き継ぐため、今私たち一人ひとりがすぐ出来る事のひとつが省エネ・節電です。かしこく効率的な電気の使い方を工夫することで、かなりの節電が可能です。節電分を寄付することで、持続可能な自然エネルギーを普及させることができます。ぜひ「おひさま発電所」づくりに、ご参加ください。



おひさまでんきプロジェクト ～ あなたの電気代からおひさま発電所がうまれます！

「必要なエネルギーは、太陽光や風力などの再生可能エネルギー（再エネ）で 100%まかなう社会をめざそう」という想いから、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドと太陽ガスグループ（新電力会社）がはじめた共同プロジェクトです。

太陽ガス（関西地区代理店 Happy Energy）に毎月支払う電気代の一部が、おひさま発電所設置のために還元される仕組みです。再エネ 100%をめざす電力会社から電気を買うことで、さらにおひさま発電所を増やしていきましょう！

●このプロジェクトは、「おひさまでんきプロジェクト」のひとつとして、太陽ガスグループが応援しました。

社会福祉法人ののはな会 吉祥院こども園

〒601-8331 京都市南区吉祥院政所町 3-3

TEL：075-691-2863

FAX：075-671-4668

URL：http://kissyouin-hoikuen.ed.jp/about/

市民再エネプロジェクト in 京都

（事務局：認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド）

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町 21 番地

事務機のウエダビル 206

TEL/FAX：075-352-9150

E-mail：info@kyoto-gf.org

URL：http://www.kyoto-gf.org

この印刷物は
自然エネルギー
（太陽光）を
活用して
印刷しました。



2025 年 2 月発行